＊＊2026 年 3 月改訂（第 3 版）
＊2023 年 9 月改訂（第 2 版）

医療機器承認番号　30200BZX00342000

医療用品（04）整形用品
高度管理医療機器　抗菌性創傷被覆・保護材　JMDN コード：34614000

アクアセル Ag アドバンテージ リボン

再使用禁止

【警告】
明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。
［感染を悪化するおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行ない、慎重に使用すること。］

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状及び構造

本品は、繊維状のカルボキシメチルセルロースナトリウムのナトリウムイオンを銀イオンで部分的に置換して製したカルボキシメチルセルロースナトリウム銀にエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム塩（EDTA/キレート剤）と塩化ベンゼトニウム（BTC/界面活性剤）を添加した不織布であり、セルロース繊維のリヨセル糸にてステッチを施すことで不織布を補強している。
滲出液等を吸収・保持し、その被覆材内と創部接触部位にて抗菌効果を示す抗菌性材料の創傷被覆・保護材である。本品は灰色のリボン状である。

名称	原材料名
不織布	カルボキシメチルセルロースナトリウム銀 （EDTA、BTC を添加）
糸	リヨセル糸

2. 機能及び動作原理

本品は、滲出液等を吸収・保持してゲルを形成し、創傷部を外部から保護し、生体が本来持っている自然治癒力を促進させる湿潤環境を形成する。ゲル状態になった本品は、創傷部に固着せず、除去するときに新生した組織に対する影響は少ない。不織布に施されたステッチはゲル化しないため、破断することなく創傷部から除去することができる。
また、本品は、滲出液を吸収・保持した時、その被覆材内の滲出液中に銀イオンを遊離し、存在する細菌に対して抗菌効果を示す。銀イオンの遊離を速めるために EDTA、BTC を添加している。

【使用目的又は効果】

皮下脂肪組織までの創傷（Ⅲ度熱傷を除く。）に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。
本品は、感染を引き起こす可能性が高く滲出液を伴う創傷に使用すること。

【使用方法等】

1) 創周囲の健常皮膚を清拭後、必要に応じて創部を消毒し、生理食塩液等で洗浄する。
2) 本品は滲出液を伴う創傷に使用すること。滲出液が少なくゲル化が十分に起こらないと予想される場合には、あらかじめ生理食塩液等で湿らせてゲル状態にしてから使用すること。
3) 本品を創傷部に充填する際は、適量を使用し軽く充填する。交換を容易にするために、本品の端部を 2cm 程度、創縁より出しておく。
4) 本品の上から二次ドレッシングで覆い、固定する。
5) 本品を皮膚から除く際は、ゲル状態になった本品をセッシ等を用いて除去する。創部内に残存した場合は、生理食塩液等で洗浄して除去する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1) 本品の構成成分に対してアレルギー反応を有する人には本品を使用せず、本品の使用によりアレルギー症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な治療を行うこと。
2) 本品の使用中に、創に本品が原因と推察される臨床的感染が起きた場合には、使用を中止し、適切な治療を行う。また、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、創に感染症状が現れることがある。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療を行うこと。
3) 本品の使用中に、皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な治療を行うこと。
4) 本品は無菌的に取り扱うこと。
5) 十分な観察の下に使用し、累積 30 日を超える長期使用は避けること。
6) 本品は局所感染治療を目的とするものではない。

2. 不具合・有害事象

1) 一般的な創傷被覆・保護材の使用において以下の「不具合・有害事象」が起こる可能性がある。
   - 創の感染症状
   - 創傷及び周囲の皮膚障害（表皮剥離、浸軟、浮腫、水疱、発赤、びらん、そう痒、アレルギー、接触性皮膚炎）
   - 固着
   - 壊死組織の増加
   - 疼痛
2) 一般的な銀による「不具合・有害事象」として、皮膚における黒染が報告されている。

3. その他の注意

1) 本品は局所管理の目的で使用されることから、褥瘡に使用する場合、体位変換や栄養の改善等も同時に実施する必要がある。また、本品を使用した場合でも、従来の全身管理は必ず継続すること。
2) 創部の状態によっては、本品交換時に不快なにおいがしたり、出血による血液が混じっていることがあるので、注意して創部を観察すること。
3) 本品の貼付により痛みがなくなるわけではない。
4) 多量の滲出液を伴う創に本品を使用した場合、創部

の辺縁皮膚が浸軟することがあるので、適切な交換時期で交換すること。

5) 痂皮や壊死組織が取り除かれて創部が拡大したように見えることがある。

6) 創部から出血が見られる場合には必ず止血処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法：室温保存

保管の条件：高温多湿、直射日光を避ける

有効期間：外箱 Exp 参照（自己認証による）

使用期間：滲出液の漏れが起こる前、もしくは二次ドレッシングの外側から滲出液の広がりが観察された時点で本品を交換する。

＊＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

コンバテック ジャパン株式会社

0120-532384

＊＊ 製造元：ConvaTec Limited
コンバテックリミテッド
英国